

写真と露出

小樽の恒例行事『雪明りの路』も終わりましたね。
OSSデジカメクラブの皆様から今年の撮影写真を拝借しました。
その写真を元に撮影結果から見た、「露出とホワイトバランス」について勉強しましょう。

写真には便宜上、番号とアルファベットを付けました。番号は単純に順番ですが、アルファベットは提供者識別、すなわちカメラ識別のためのものです。それは、撮影結果にカメラの個性と設定が影響するからです。右側のグラフは、それぞれの写真を Photoshop Elements 2 の
[画質調整 明るさ・コントラスト レベル補正] のレベル補正ウィンドウで見たものです。これは、写真全体の明暗の状況を、グラフ化したもので、通常は明暗補正に使います。今回はこのグラフにより、写真の明暗の状況を別の角度から見てみようと思いいました。

グラフの最左端が最暗(真っ暗(黒))、最右端が最明(真っ白)、真ん中がその中間の明るさと思ってください。山の高さは、その部の明るさが写真全体に占める量になります。すなわち、山の高い部分が左によっていると暗い部分が多い写真で、山の部分が右にずれるにしたがい中間部が、そして明るい部分が多い写真になります。

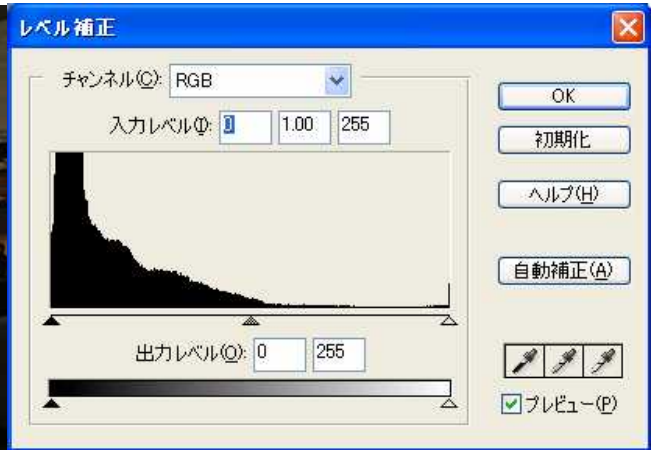
ここでは便宜上、グラフの左側を暗部、中央部を中間部、右側を明部とします。
写真とグラフを見比べ、更に他の写真とも見比べてください。



1 D



綺麗ですねー

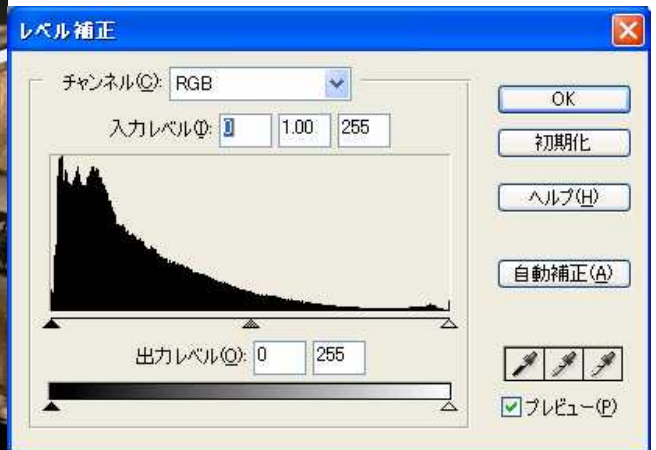


しかし、明部のデータが大変少ないですね。

2 B



天候のせいでしょうか、遠くが霞んでロマンチック！



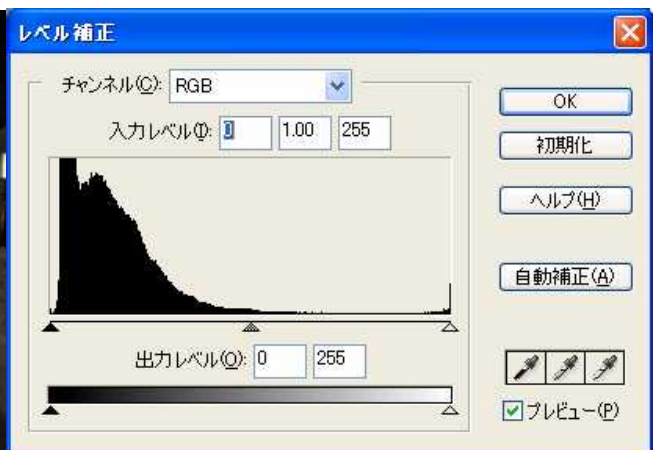
明部データは、街灯の輝きでしょうね

3 D

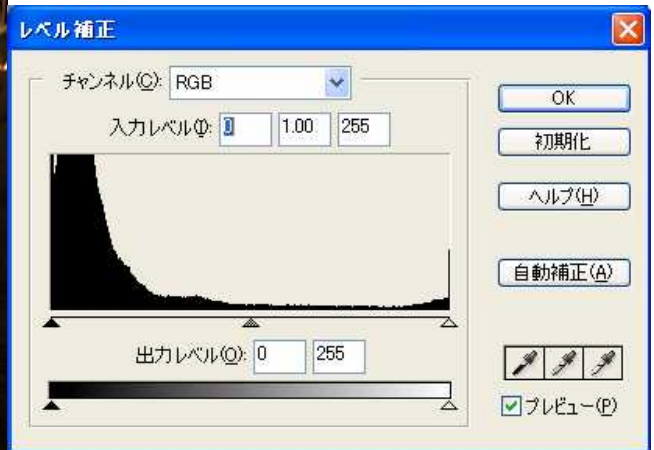


雪の冷たさが青みで表現され、それに蝋燭の暖かさも！

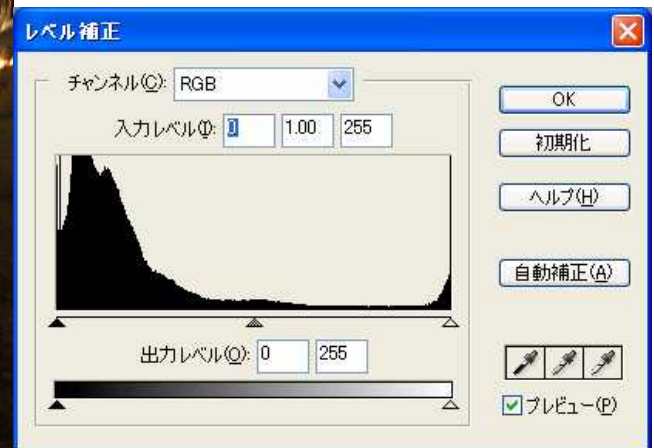
写真、2と3をグラフで見ると最暗部データが少ないですね、だけど、見た目にはまったく分かりませんね。



4 B

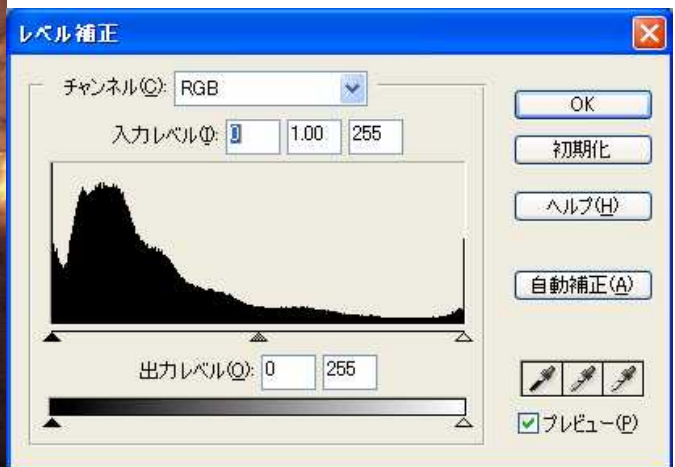


灯りが輝いています。



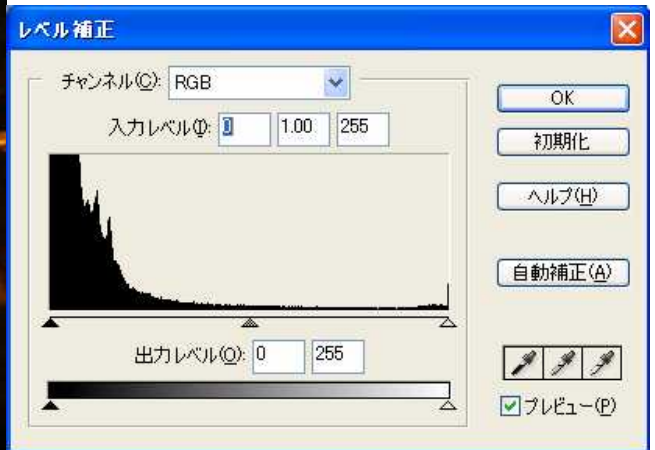
輝きすぎ！ここまで+補正する必要はなさそうです。白飛びしすぎました。

5 A0 オリンパス C720UZ F2.8 1/2秒 ISO400



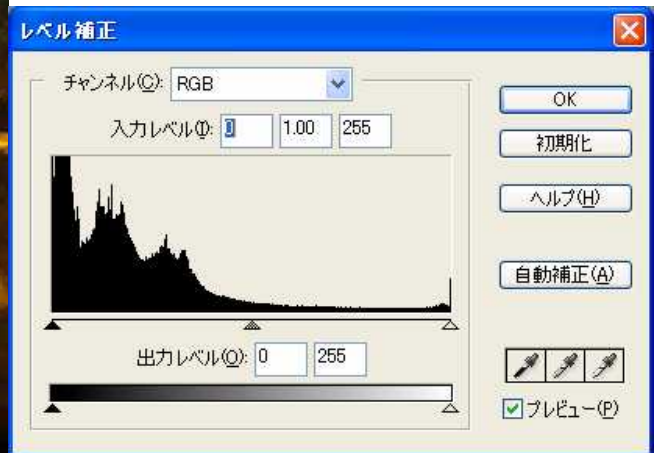
チョット青っぽいんですよ、ホワイトバランス・オート、分割測光、風景モード、露出補正+2です。完全オートでは、各種設定ができないので、風景モードを使ってみました、白飛びしています。露出オーバーでしょうね！

6 C



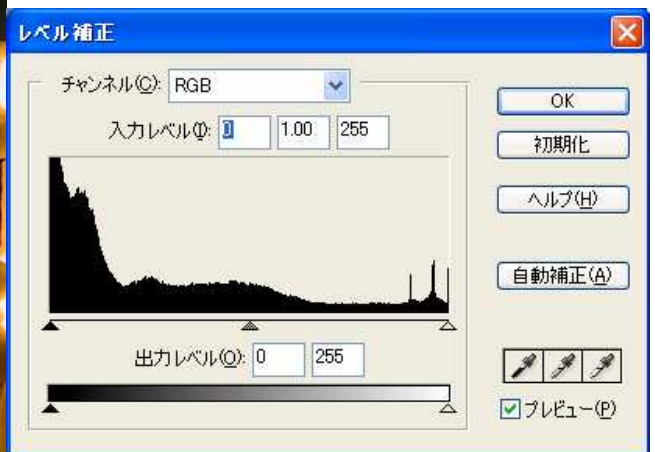
チョット暗めかも知れませんが、温かい雰囲気が出ていますよね！

路面が見えるように、露出を+補正したつもりで修正



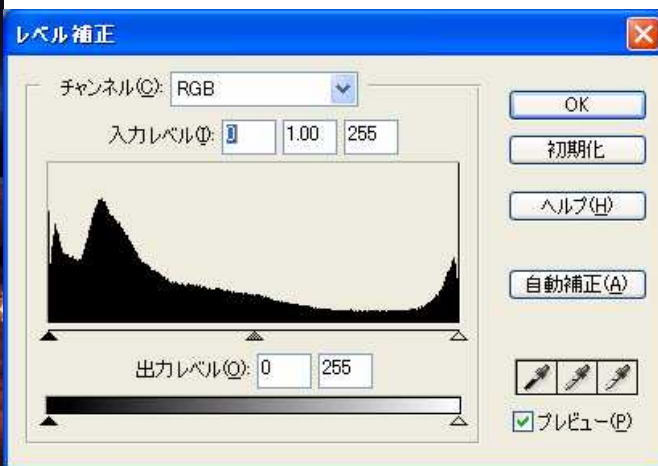
見えすぎちゃって困るのー 左右の灯りが漏れる淡い光を、大事にすべきだったーかなー！

7 B



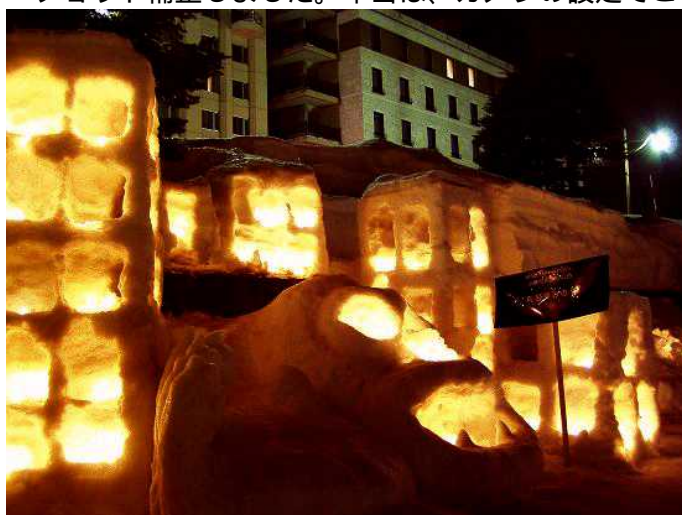
青っぽい街頭の光が分かります。人影がアクセントになり引き締めています。左側に人影が二つ、街灯の影響が少ないところです。

8 A o オリンパス C720UZ F2.8 1/2秒 ISO400



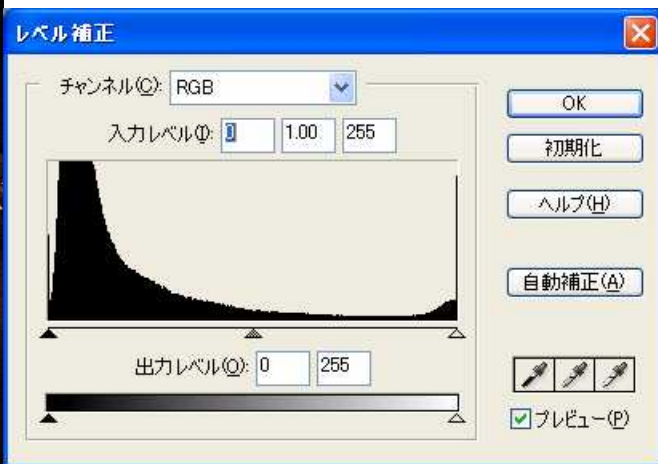
建物の壁が青っぽいですね、ホワイトバランス・オート、分割測光、風景モード、露出補正+2です。

チョット補正しました。本当は、カメラの設定でこのように撮りたいのですが！



青みを少し消してみました。単純に私の好みに！ 独断と偏見かな？

9 A r リコー キャプリオGX8 F2.5 1/2秒 ISO400



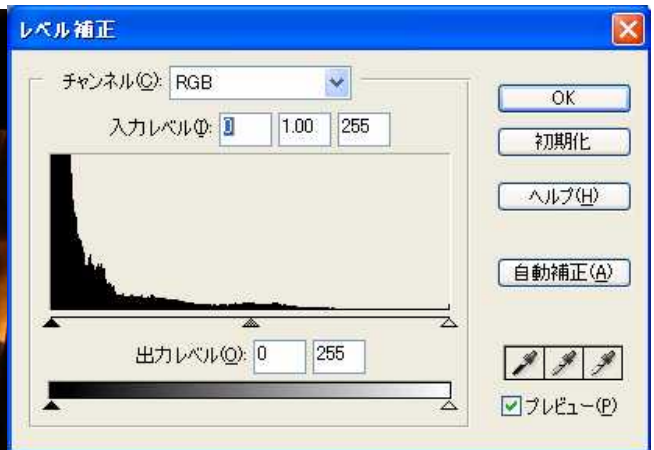
8と同じところから、別のカメラで！

建物の壁が黄色っぽいですね、ホワイトバランス・雲天、露出補正なし、分割測光、プログラムA E

10 D



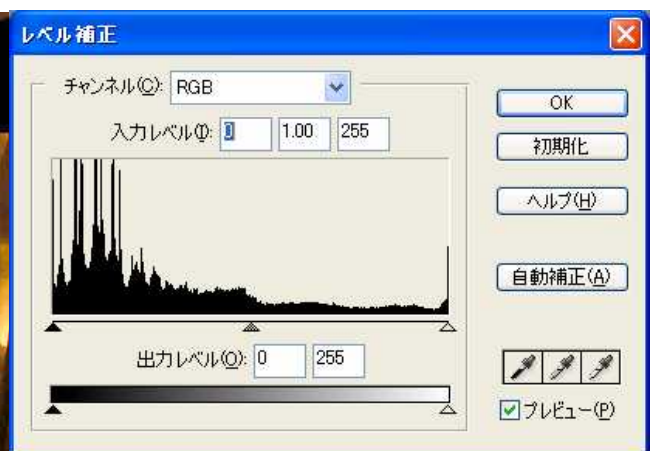
露出不足ですね、黒つぶれで輪郭が見えません。



中間部から明部のデータが少ないですね。



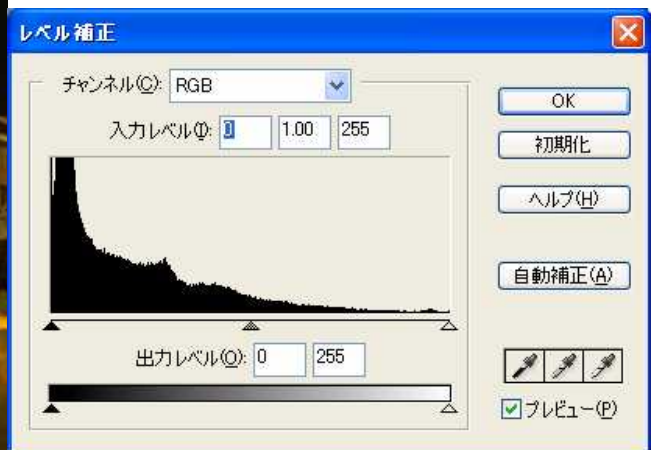
顔の輪郭が出るように、+補正したつもりです。



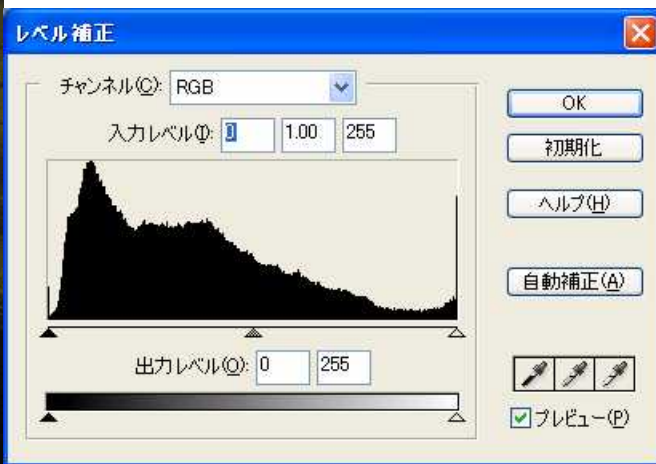
11 C



倉庫の壁にも、屋根の雪にも蝋燭の灯りが届いているかのように感じられますね



12 Ar リコー キャプリオGX8 F2.5 1/5秒 ISO800

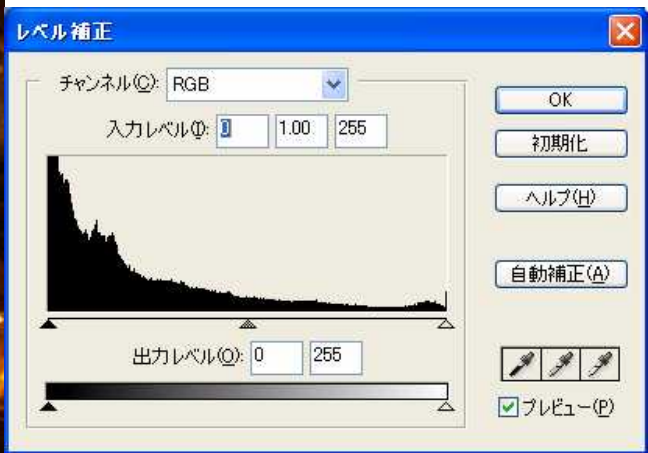


チョット青っぽいでしょうか、ホワイトバランス・オート、露出補正なし、分割測光、プログラムA E



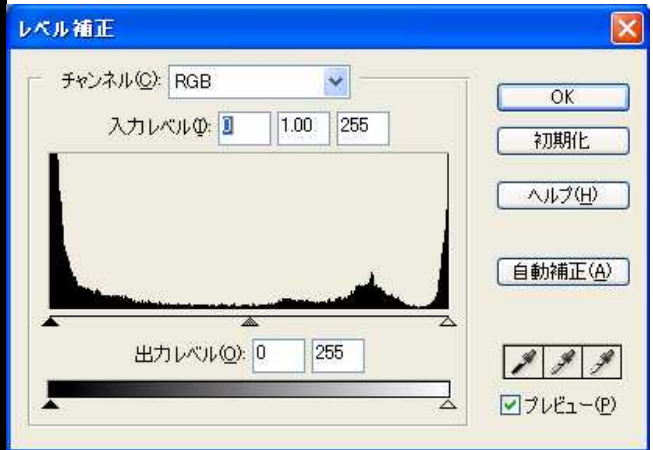
青みを押さえ、黒さも少し強めました。

13 C



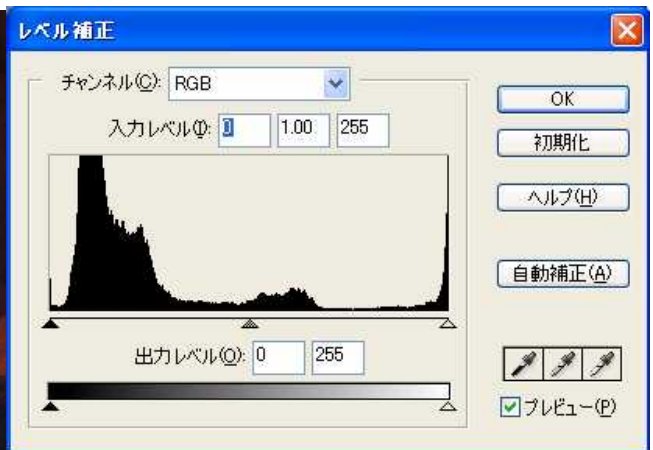
蠟燭が一杯！ ここは、暖ったかそうだ！

14 B



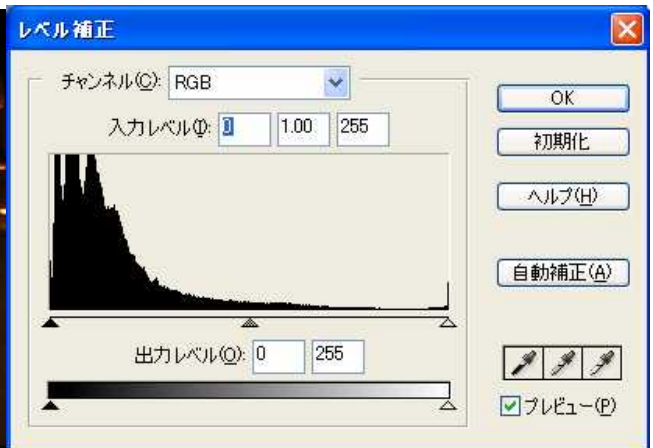
あったかーいランプ！

15 D



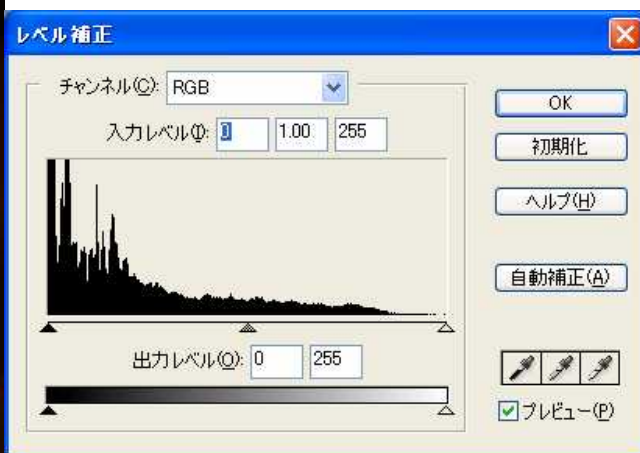
蠟燭の炎が輝いています。葉っぱのシルエットいいですね

16 D



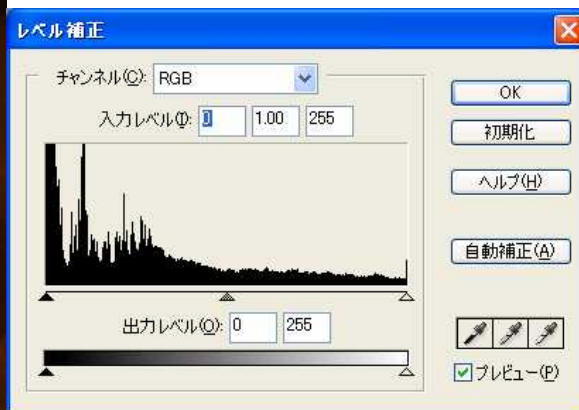
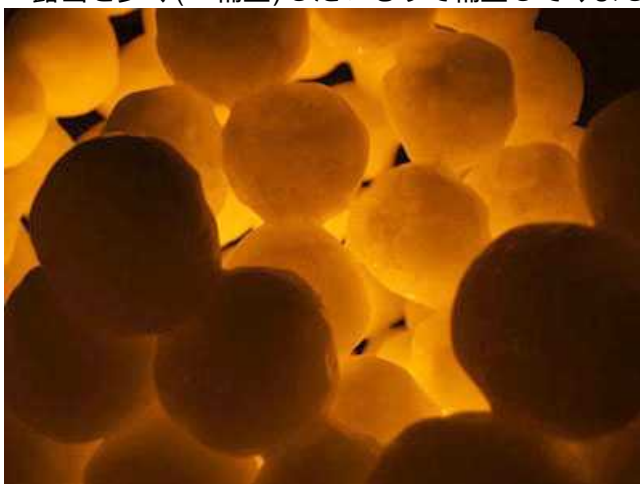
チョット青みが、街灯の影響でしょうか？

17 C



最明部付近のデータがほとんどありません、が！

露出を多く (+ 補正) したつもりで補正してみましたが！ ???



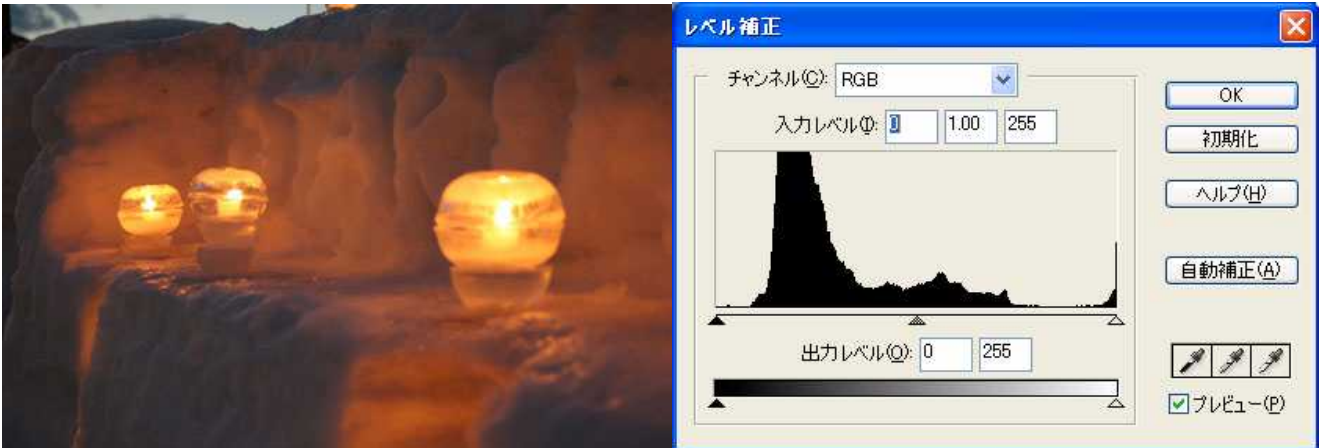
暗部が少なくなり、どうかなぁ？ チョット平坦になりすぎ？ 前のままの方が良いのでは！ ? ! ? !

18 C

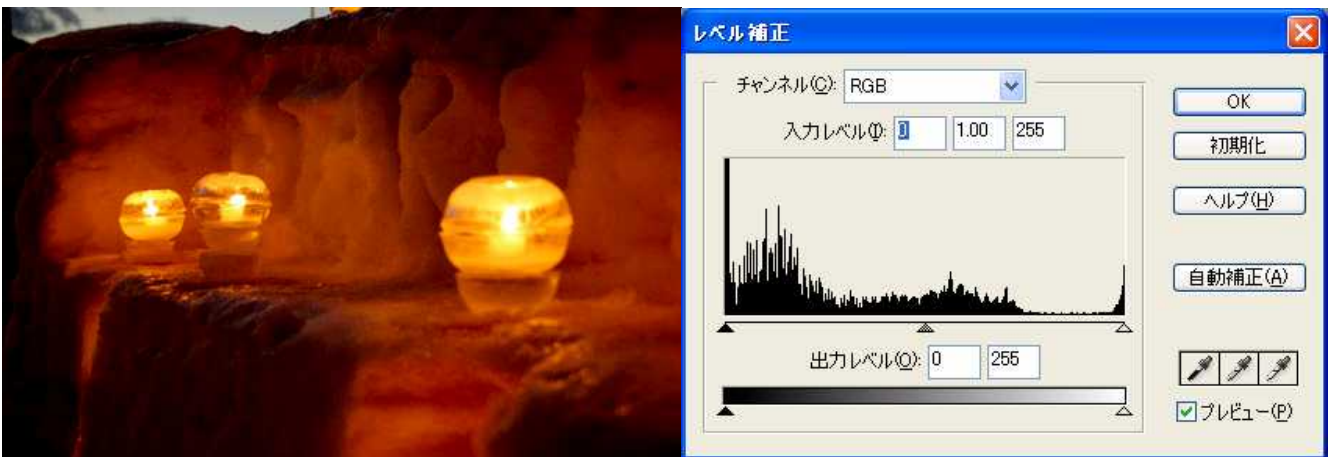


幾何学的で面白い構図ですね、蠟燭が招いているように感じます。

19 D 大変難しい時間帯と被写体の例でしょうか



暗部のデータが無く明部のデータも少ないですね。
 なんとなくメリハリが少なめの軟調写真に、まだ空が薄明かったからかな？ ホワイトバランスも？
 露出を少なめにしたら(アンダーめに)どうかなー、暗い部分をもっと暗くなるように！
 測光モードをスポットにし、良さそうな測光ポイントを探し、シャッター半押しでこの構図に！



青みを少し減らし、最暗の部分をずらしてみました。(ホワイトバランスと露出補正(-)のつもりで)

20 A o

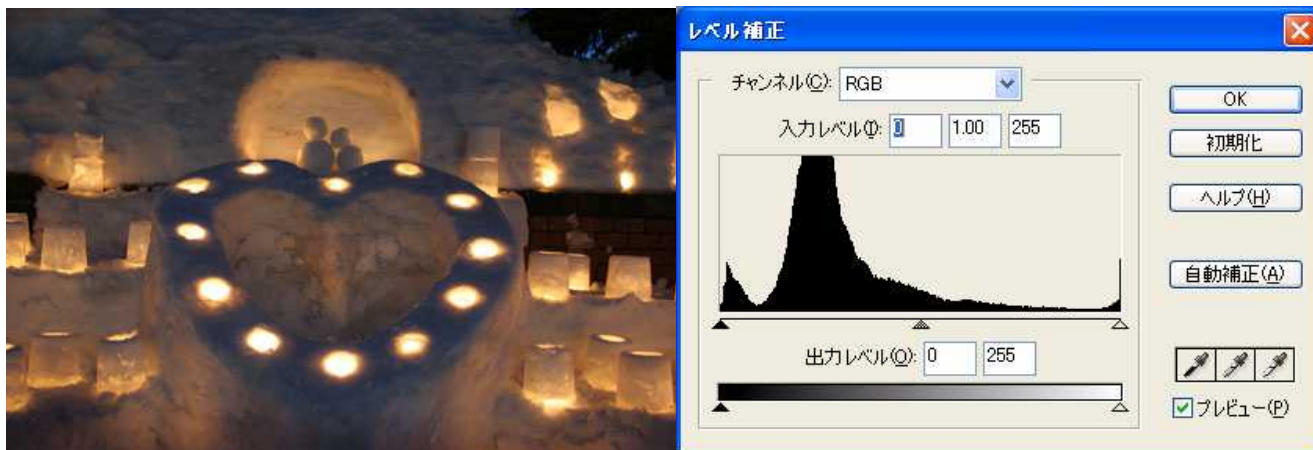


綺麗な水面

21 A o



青と黄色の揺らぎに魅かれて



なんとなく不満というか不安な感じがします。暗部のデータがあるのに?? 青みも多いですね! 壁の黒さの中に細部が見えていますね、この場面では黒つぶれでも良いのでは??



チョット補正しすぎかもしれませんが、青みを減らし、黒を強調してみました。

* * * * *

いろいろ見ましたが、決して、レベルのグラフが絶対ではありませんでしたね、人間の目、あなたの目を信じて写真を撮りましょう! けれども、分かったことは、

引き締まった写真には、黒味というものが大切です。(露出補正)

そして、蝋燭の温かさを表現するには、青みは控えたほうが良さそうです。(ホワイトバランス)

デジカメは明暗差が大きい(コントラストがある)被写体は大変苦手です。明るいものに押さえ込まれ、主対象が露出不測になったり、その逆の場合もあります。露出補正を上手く使い主対象が良く映るように調整してください。重要でないところは白飛び、または黒つぶれも覚悟しましょう。

デジカメは、メーカー、そして機種により、写真の仕上がり(記録のされ方)が微妙に違います。気に入った写真を撮るためには自分で調整しなければなりません。説明書で次の設定を確かめてみてください。

撮影モード(完全オートより各種設定が可能なモード、絞り優先モードはどうでしょうか)

ISO感度の設定(夜間はオートでも良いですが、400か800位でどうでしょうか)

露出補正(蝋燭が多い場所(背景が明るい)等では、+補正で露出を多くしたほうが良いかもしれませんが)

ホワイトバランス(カメラにより違いがありますので、試しながら決めてください)

測光モード(一般的には、スポットや中央重点よりパターン測光又は分割測光が良いかも知れません)

(主対象により、周囲の影響を無くすため、スポット測光も必要かもしれません)

要は、主被写体により、表現方法により、自分の好みに調整し撮影してください。

見てくださる人々が、勝手な解釈をしてくれます。もしそれが作意と合ったとき、最高の喜びですね。

デジカメには、銀塩カメラにない多くのメリットがありますのでそれを生かしながら、楽しみましょう!